

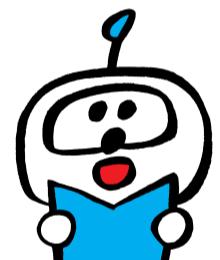
この夏、絶対オススメの3冊！



やりたいこといっぱいの夏休み。プールにお祭り、遊園地もいいけれど、とことん読書も最高だ。夏が終わるまでに何冊制覇できるかな。さあ、学校でいちばん「世界」を知ってる人になろう！

新潮文庫 中学生新聞

2020 SUMMER



長い小説を読むのが苦手な人も、手軽に読書の楽しさが味わえる！朝読にもピッタリ。

『ボッコちゃん』星 新一
ユニークな発想、スマートなユーモア、シャープな風刺が冴える、ショートショート50編。

寄せ集めのメンバーがぶつかり合いながら挑む中学最後の駅伝大会。感涙必至の青春小説。
バラバラの六人が同じ目標に向かう姿がかつっこいい！部活をがんばる君に読んでほしい。

『あと少し、もう少し』
瀬尾まいこ

教室で出会った重松清
忘れない、あの日の授業で読んだ物語。教科書や問題集に登場した作品が読める名作集。
親や先生への不満、友だち関係の悩み……君たちのリアルが描かれた小説にきっと共感！

『カレーライス
教室で出会った重松清』

海か山かといえば三島は断然、海派でした。ある神島を取材して書かれた青春小説。純真で混じりけのない若者の恋物語は読みやすく、まばゆい陽光や潮の香とともに鮮烈な印象を残します。発売後大反響を呼び何度も映画化

も、三重県の伊勢湾にある神島を取材して書かれた青春小説。純真で混じりけのない若者の恋物語は読みやすく、まばゆい陽光や潮の香とともに鮮烈な印象を残します。発売後大反響を呼び何度も映画化



編集部 M (30代)

幼い頃は毎週末家族と図書館へ。中学生の時、夢が編集者になりました。



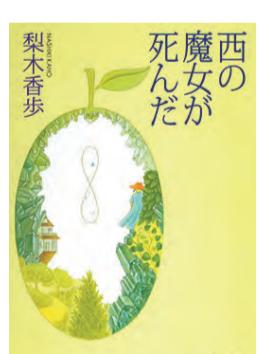
営業部 M (20代)

新潮文庫nexを担当。中高は6年間女子校でたくましく育ちました！



編集部 B (50代)

中学時代は柔道部。得意技は巴投げ。芥川、井上靖が大好きでした。



文庫担当社員がすすめる
「中学時代の思い出の一冊」

『星の王子さま』
サンリテグジュペリ
河野万里子／訳

『西の魔女が死んだ』梨木香歩
川端康成

『伊豆の踊子』
川端康成



夏のお天気読書予報

晴れの日は、ノーベル賞作家カミュの『異邦人』に挑戦。この不条理に耐えられるか。

曇りの日は、さくらももこさんの『さくらえび』でよどんだ空を爆笑で吹き飛ばそう。

雨の日は、湊かなえさんの衝撃のミステリー『豆の上で眠る』を一気読みしちゃおう。

三島をもっと知りたくなったキミに一冊！

三島由紀夫は、海派だった！